

2023

10&11

FLAP.

P.2 **オリンピアン**の種 数学オリンピック

P.6 **特集** 生徒意向調査報告書

P.10 **デザイン制作実践講座** 第7回:アニメーションを活用しよう

P.11 **Graphic Design Workshop** 第7回:配置① レイアウトデザインの4原則

P.12 **巻末** FLAP.の自己紹介。



Komaba FLAP.
for learners and pioneers.

オリ ピ ア ン の種

連載

数学オリンピック編

今回のOB・OG

床呂 光太

筑駒70期OB/東京大学理科1類2年/IMO2021銀メダル



学術オリンピック系大会を中心に、予選申込締切の近い、ホットな大会に関するコンテンツをお届け。

「蒔かぬ種は生えぬ」、ちょっとしたきっかけでの挑戦が、貴方の人生を大きく変えることも。この機会に是非、様々な大会へチャレンジしてみましょう！

代表OB・OGに聞く！ 出場のすゝめ

数学オリンピックでは何をする？

数学オリンピックは、全国の数学好きの中高生が数学の問題で競争するという大会です。図形問題や整数についての問題、パズルのような問題など、様々な分野の問題が出題されていて、定期試験や受験などの問題とは少し毛色の違った問題も楽しめます。大会は、中学生以下が参加できるJJMOと、高校生以下が参加できるJMOがあります。予選は答えだけを回答する形式で、3時間で12問を解きます。本選は証明も書く必要がある記述式で、4時間で5問を解きます。

数学オリンピックの特徴・魅力

なんといっても問題が面白いことが魅力です。難しい問題を様々な角度から考察して解けたときにはとても爽快な気分を味わえます。また、本選の記述式の問題に取り組みば、答えを予想するだけでなくきちんと証明することの難しさや楽しさに気が付くことができると思います。春に行われる代表選考合宿に参加すると、数学好きの仲間と1週間生活を共にして、たくさんの友人を作ることができるでしょう。

大学の勉強とのつながり

数学オリンピックの問題を解くうえで、大学以降の数学の知識が必要なことは基本的にありません（知っていること役に立つことはありますが）。

ただ、数学オリンピックの勉強を通じて得た、論理的な思考力は大学で数学を学ぶ上でとても役に立っています。

本戦出場までに必要なこと

JJMOのためには中3まで、JMOのためには高2までの数学を理解していれば基本的には十分でしょう。ただし、整数や初等幾何などについては特有の知識を使う問題もあり、特別に勉強してもよいと思います。

数学オリンピックにおいては知識以上に経験がとても重要です。十分な知識がある人はもちろん、知識が不十分な人もどんどん演習をしましょう。演習をする際はJMO、JJMOの過去問がおすすめです。

代表活動でのエピソード

僕が代表だった2年前のロシア大会は、コロナの影響でオンライン大会となり、日本チームは東京のホテルに集まって参加しました。そのため他国の選手と交流したりはできませんでしたが、日本代表の仲間や、OBの先輩方とワードウルフなどで遊んだ思い出があります。肝心の試験ではプレッシャーもあり、簡単な問題に1時間以上時間をかけてしまうなどのこともあったのですが、なんとか力を出し切ることができました。

ちなみにコロナ禍でない例年の大会では、日本代表のメンバーで観光をしたり、他国の代表と交流する機会があったりするようです。うらやましいですね。

問題にチャレンジ!

◆JMO2023 予選 問題2

2の方が3より多く各桁に現れるような正の整数を良い数とよび、3の方が2より多く各桁に現れるような正の整数を悪い数とよぶ。2023以下の良い数の個数は2023以下の悪い数の個数よりいくつ多いか。

※例えば2023は良い数で、123は良い数でも悪い数でもないです。

◆JMO2020 本戦 問題1

$\frac{n^2 + 1}{2m}$ と $\sqrt{2^{n-1} + m + 4}$ がともに整数となるような

正の整数の組 (m, n) をすべて求めよ。

解答・解説は公式LINEから配信!
登録方法はP.8→

オリンピックへの道

10/31

申し込み締め切り

1/8

一次予選
(3時間/12問)

2/11

本選
(4時間/5問・JMO:約200人 JJMO:約100人)

3/下旬

代表選考合宿
(4泊5日、JMOから約20人、JJMOから約5人)

5/上旬

代表強化合宿

7/下旬

国際数学オリンピック
(代表6人・4.5時間/3問の試験を2回・@イギリスのバース)

Road to OLYMPIAN

オリンピック候補生へのおすすめ本・企画

前提として

JJMOを受けるには中3まで、JMOを受けるには高2までの数学を学んでおく和良好的ですが、数学オリンピックの問題の中には知識がなくても解ける問題も多くあります。個人的には、本を読むなどして知識を増やしつつ、過去問演習などで経験を積むことを同時並行で進めることをお勧めします。

試験対策に

知識が不十分だと感じる人には「ジュニア数学オリンピック 2018-2023」をお勧めします。必要な知識がある程度網羅的に説明されているおり、さらにはその知識を応用できる問題がたくさん載っています。この本で学んでいけば自然と力がついていくでしょう。知識がある程度ある人には「獲得金メダル! 国際数学オリンピック メダリストが教える解き方と技」をお勧めします。この本で、数学オリンピック特有の知識や技術を身に着けられます。その他にも分野ごとにさまざまな本があります。

夏季セミナー

JMO や JJMO のコンテストとは別に、数学オリンピック財団主催の「JMO 夏季セミナー」というイベントがあります。これは数学の専門書を読んで理解し、その内容を他人の前で発表することを通して数学の魅力を味わうというコンセプトのイベントです。2024年は8/4~8/10の6泊7日で開催される予定です。「自分が数学に関して考えたことや研究したことをまとめた論文」を送り、選考に通ると参加できます。受験数学や数学オリンピックなどの与えられた問題を解くのも楽しいですが、それとはまた違った形で数学の奥深さを感じられるとても楽しいイベントなので、ぜひ参加してみてください。詳しくはHPを見てください。

(左)
数学オリンピック財団・編
「ジュニア数学オリンピック 2018-2023」



(右)
小林一章(監修)
「獲得金メダル! 国際数学オリンピック メダリストが教える解き方と技」



「ご注文は数オリですか?」
(数学オリンピックOBで運営されている情報サイト)



数学オリンピック委員会HP
(過去問等)

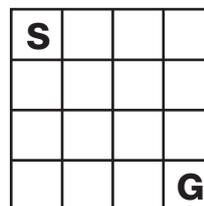
問題にチャレンジ!

数学オリンピックで定番の、マス目を使った問題を考えてみましょう。

まずは簡単な問題からです。

問題

右の図で、縦or横に隣り合うマスをとどって、SからGまですべてのマスを1回ずつ通るように移動できるか?



解答

できない

答えは、「移動できない」です。すべての移動方法を検証することで確かめることもできますが、次のような方法でもっと簡潔に証明できます。

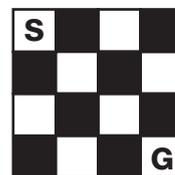
次のようにマス目を白と黒で塗り分けます。

白いマスの隣は黒いマスで、黒いマスの隣は白いマスですから、白いマスから

スタートして白いマスでゴールするとき、白→黒→白→黒→…→白→黒→白となります。ということで、白いマスは黒いマスより1回多く通ることになります。しかし、上の図を見ると分かるように、白いマスと黒いマスの個数は同じですから、このルートではすべてのマスを通ることができないことが分かります。以上で「すべてのマスを通るように移動できない」ことが証明できました。

このようにマス目に色を塗って考察する手法は「塗り分け」と呼ばれます。とくに、この問題で出てきた塗り方は「市松模様」と呼ばれ、マス目の問題を解決するときには有用な塗り分けの一つです。

残念ながら、市松模様は有名すぎるので、それだけで解ける問題は数学オリンピックではあまり多くありません。しかし、何らかの塗り分けをすることで問題が解けることはよくあります。数学オリンピックの問題に挑戦してみましょう。



問題

5×5のマス目に、右の図のような4マスからなるタイル何枚かをマスに沿って置く(タイルを回転させたり、裏返して置いたりしてもよい)。ここで、各マスには最大2枚のタイルを重ねてよい。また、タイルはマス目からはみ出してはいけない。このとき、1枚以上のタイルで覆われているようなマスは最大でいくつか?(2023 JMO本選 問題1)



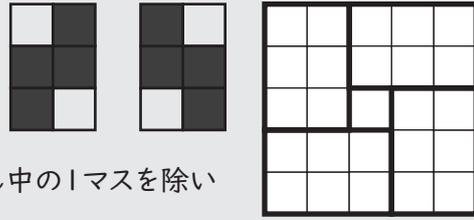
とりあえずいろいろな配置を考えてみましょう。

同じマスには2枚までタイルを重ねられることに注意が必要です。

色々試すと、次のようにして24マスを覆うことができることが分かります。

24マスを覆う方法

次の図のような2つの向きのタイルを重ねることで、 3×2 のマス目を覆うことができます。



この 3×2 のブロックで次のように 5×5 のマス目を覆えば、真ん中の1マスを除いた24マスを覆うことができます。

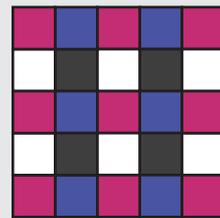
では、25マスすべてを覆うことができるでしょうか。色々試しても25マスすべてを覆うことはできないと思います。もしそうなら、答えは24ですね。しかし、この問題は本選の問題ですから25マスすべてを覆うことができないことを証明する必要があります。実はこの問題の難しい所はこの証明の部分なのです。この証明は色々な方法があると思いますが、塗り分けの考え方を使えばスマートに証明ができます。

25マスすべてを覆うことができない証明

次の図のように赤、青、白、黒の4色でマス目を塗り分けます。目がちかちかするかもしれませんが、市松模様似た塗り方になっていることが分かります。

そうすると、どこにどんな向きにタイルを置いても、赤、青、白、黒のマスそれぞれ1つずつを覆う

ことになります（試してみましょう）。赤いマスは9つありますから、もし赤いマスをすべて覆えたとすると、タイルは9枚以上必要です。しかし、黒いマスは4つしかないですから、タイルが9枚以上あると、黒いマスのどれかが、3枚以上のタイルで覆われることになってしまいます。ということで、赤いマスすべてを覆うことはできないことが証明されました。



いかがだったでしょうか。塗り分けを用いてマス目の問題を解決するのはなかなか面白かったのではないのでしょうか。最後に、塗り分けで解ける問題を2問載せておくので、興味がある人は考えてみてください。

問題

- ① 右の図のような4マスからなるT字型のタイルを9枚使って 6×6 のマス目全体を覆うことはできるか？

ヒント： 6×6 のマス目を市松模様で塗り分けましょう。

T字型のタイルは何マスの白と何マスの黒を覆うでしょうか？



- ② 7×7 のマス目がある。

マス目のどれかを選び、駒を置く。その後、縦or横or斜めに隣り合うマスに駒を移動することを繰り返したところ、すべてのマスを1回ずつ通った。このとき駒を縦or横に動かした回数としてありうる最小の値はいくつか？

(2019 JJMO本選 問題4 改題)

ヒント：答えは12です。ということで、12回でできる例の一つを見つけ、さらには11回以下ではできないことを証明する必要があります。市松模様の塗り分けが役に立つかもしれません。

中高生意向調査報告書

Komaba FLAP.では、生徒需要に沿った支援施策の実施のため、2023年7-8月に筑波大学附属駒場中学・高等学校在校生を対象としたアンケートを実施しました。今回はその内容を一部抜粋し、掲載します。

・調査概要

調査概要は下記の通りになります。

アンケートの配布方法や回答率の向上は来年以降の課題として、法人側でも検討を進めてまいります。

調査概要

 Komaba FLAP.
for learners and pioneers.

調査目的	各種支援施策に関する生徒の関心・意向調査						
調査方法	Google Form アンケート調査 全15問						
調査対象	筑波大学附属駒場中高 全校生徒						
調査期間	2023/7/5～2023/8/6						
対象者数	約900名						
有効回答数	488名						
内訳	学年	中1	中2	中3	高1	高2	高3
	回答数	114	69	89	74	77	65
	回答率	92.7%	56.1%	72.4%	45.1%	47.0%	39.6%

今回の調査では、下記のテーマについて調査を行いました。

- ・生徒の活動時間
- ・科学オリンピック等各種大会への意向
- ・興味関心学問分野
- ・スキル習得意向
- ・海外留学・海外大進学意向

本稿では、特に特徴的なものとして3つのテーマをピックアップしました。

・科学オリンピック等各種大会への意向

大会別に興味関心や参加の意向を聴取した結果が下図となります。

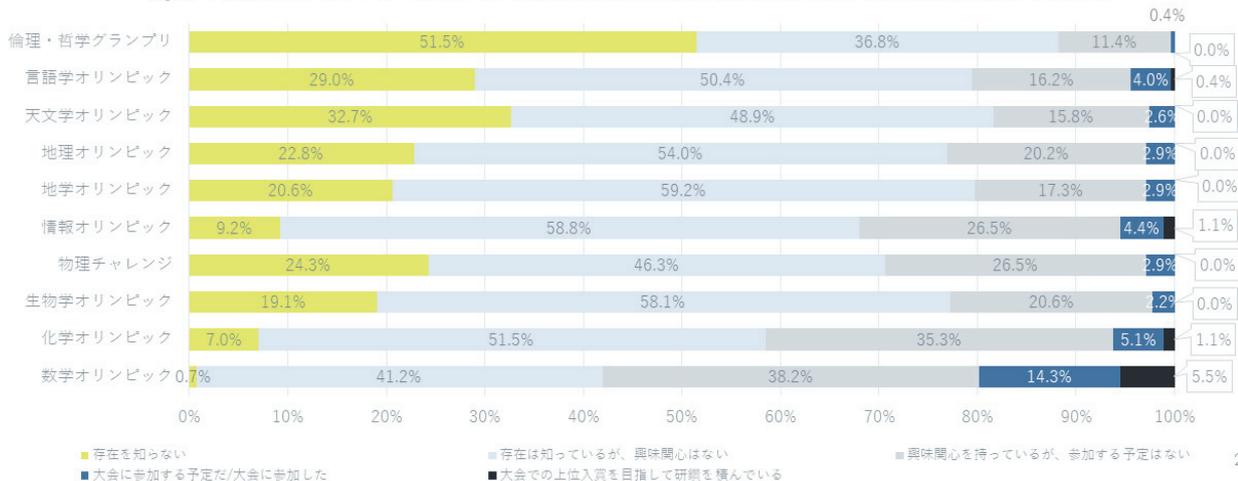
数学オリンピックの人気さが伺えると共に、大会の存在が認知されていない分野も幾つかある事が明らかに。こうした各種大会の情報については、今後も広報誌にて皆さんにお伝えできればと考えております。

五輪参加意向度(Q2)

Komaba FLAP.
for learners and pioneers.

- 大会参加意向者(右2色)は数学が飛びぬけて多く、次いで情報、化学、言語学。
- 倫理哲学や天文学は非認知率が高く、大会情報自体の告知が行き届いていない状況。
- 言語学は非認知者が多い一方で参加意向者も多いため、認知拡大により参加者が急増するポテンシャルがある。

【Q2】下記の大会やコンテストについて、あなたの現在の状況に当てはまるものをそれぞれ1つ選んでください。



アンケートのデータを基に、大会出場までの意向の変遷を「大会の存在を知らない」から「代表を目指して努力している」の5段階で整理し、各大会の現状を分析した図が下記となります。

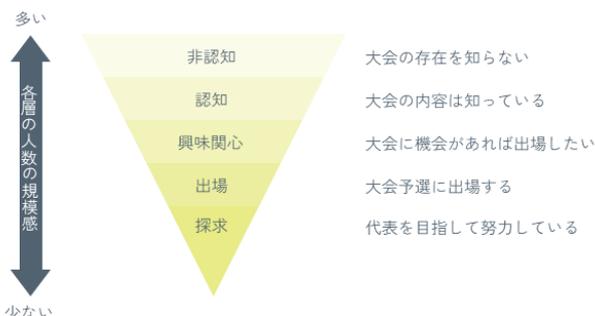
大会によっては「興味はあるけど参加のハードルが高い」と答える方が多いものだったり、「知ってはいるけど興味が湧かない」と答える方が多いものがあり、来年以降の施策では大会毎の状況に併せた支援を実施していきたいと考えております。

五輪種別参加意向度(Q2)

Komaba FLAP.
for learners and pioneers.

- 認知から出場、入賞/代表への選出まで、生徒の意識ファネルを分解し精査すると右表の比率となった。
- 大会別に課題となる生徒意識ファネルと有効なアクションは異なり、特性に応じた支援を行っていく。

競技五輪大会における生徒意識ファネル



	認知率	認知者内興味関心率	興味関心者内出場率	出場者内探求率
数学オリンピック	99%	53%	39%	18%
化学オリンピック	96%	44%	16%	17%
生物学オリンピック	87%	41%	14%	14%
物理チャレンジ	85%	54%	15%	9%
情報オリンピック	94%	40%	25%	26%
地学オリンピック	86%	43%	15%	7%
地理オリンピック	86%	47%	18%	14%
天文学オリンピック	75%	57%	10%	0%
言語学オリンピック	81%	53%	23%	15%
倫理・哲学グランプリ	58%	73%	6%	0%

【認知拡大】

天文/言語/倫理・哲学

【興味関心訴求】

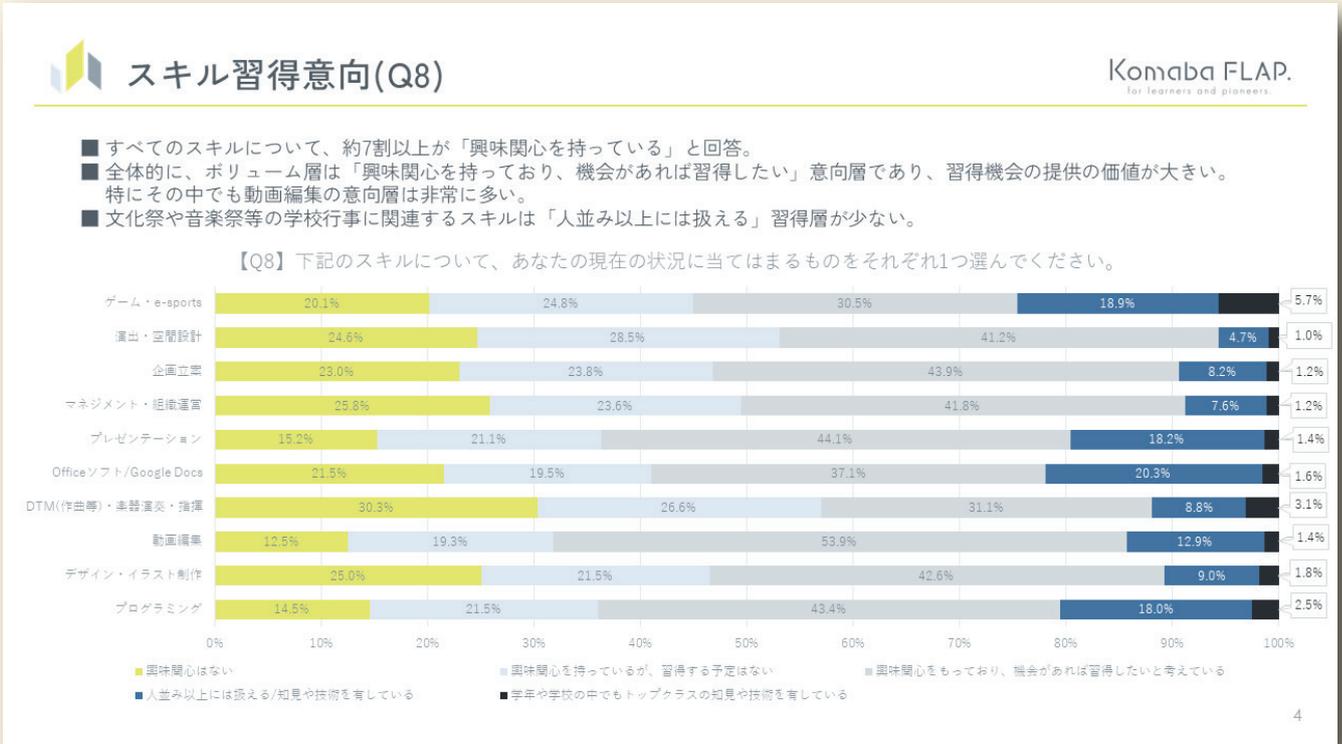
地学/生物学/情報

【出場促進】

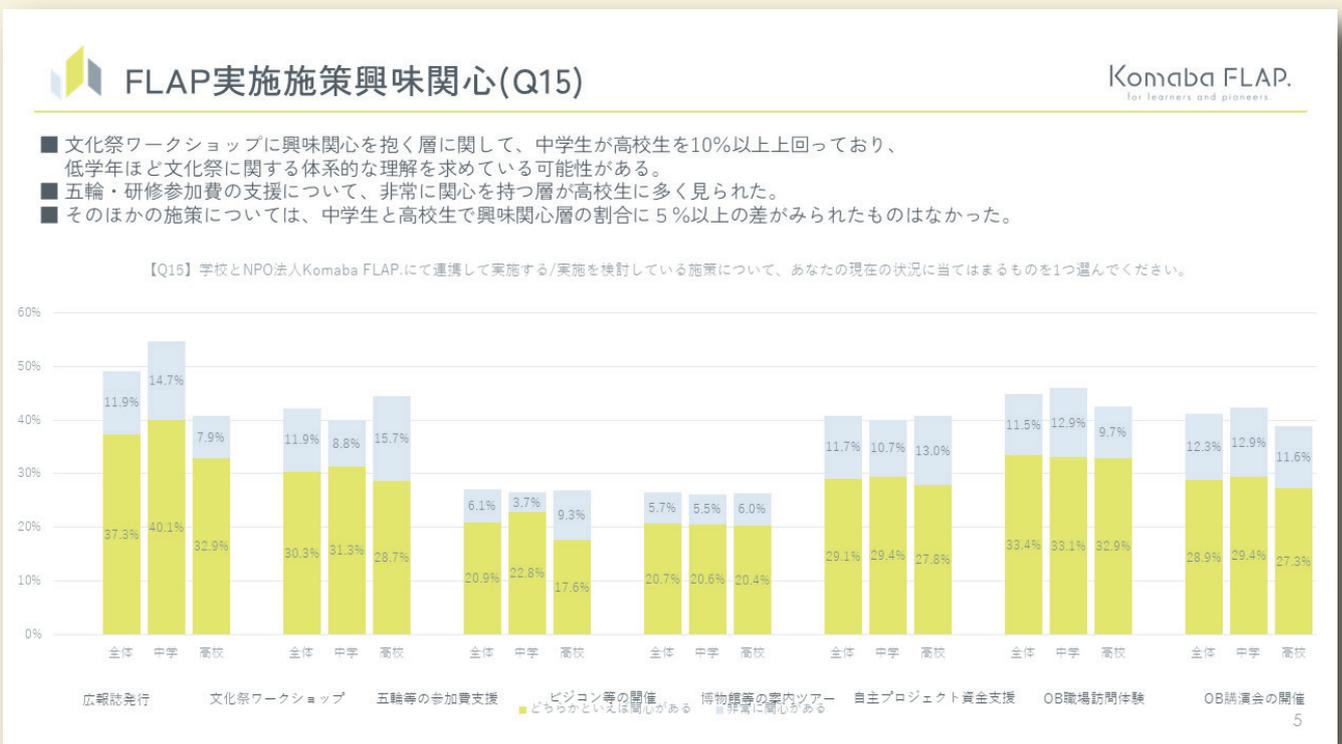
地理/物理/化学

・スキル習得傾向

弊法人で中高生が求める代表的なスキルを挙げ、興味関心や習得の意向を聴取した結果が下図となります。文化祭などの学校行事で必要になりえるスキルでは、特に「興味関心を持っており、機会があれば習得したいと考えている」との回答が多く、今後の施策実施時の参考にさせていただきます。



上記に関連し、法人設立後に実施した企画や、実施を検討できる企画への興味関心を伺った結果が下図となります。こういった施策類は、一概に需要の多さだけで実施の判断をするのではなく、対象人数が少なくとも、興味を持つ方が強む求めるような施策であれば積極的に実施をした行きたいと考えております。アンケートの中では特に中学生から文化祭ワークショップの興味関心が多く寄せられており、OBの職場訪問体験や講演会にも人気がある事が明らかになりました。



・海外留学・海外大進学意向

最後に、海外留学・海外大進学意向について、集計結果を共有させていただきます。

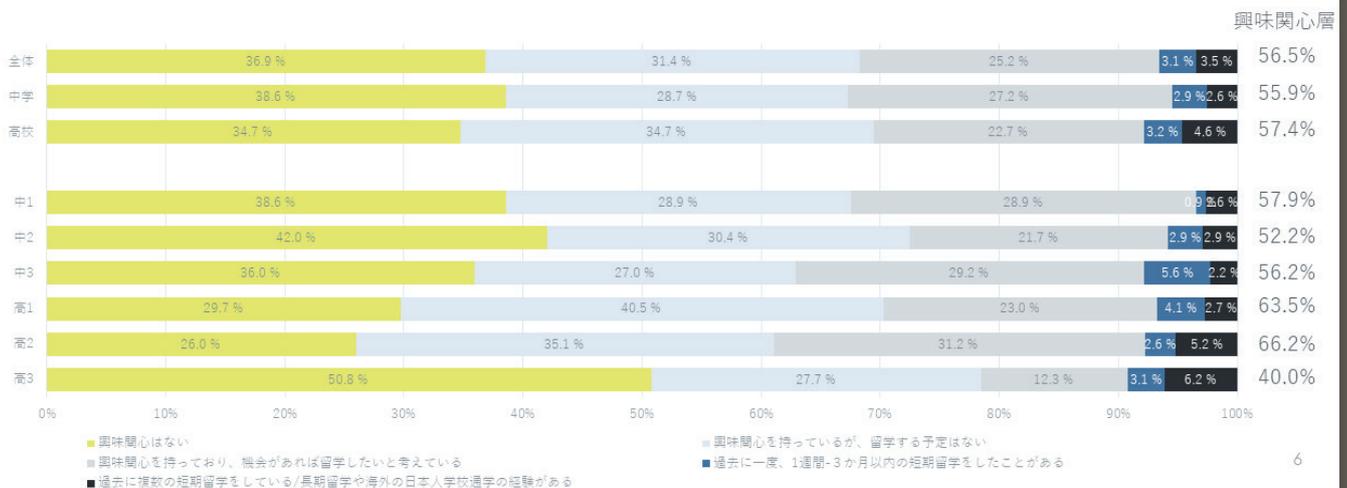
生徒の皆さんの留学に関する興味関心度は高く、全体で半数以上が留学に興味があり、留学の経験か意向がある方は全体の約3割を占めました。特に中学生の皆さんで上記回答が多く、中高6年間の比較的早い段階で皆さんが留学等を意識されていることが伝わってきます。

海外留学状況(Q11)

Komaba FLAP.
for learners and pioneers.

- 全体の25%が「機会があれば留学したい」意向層であり、機会提供や支援に潜在的需要がある可能性が高い。
- 意向層は中学生に多く、年次を重ねるごとに減少傾向。留学に対するハードルが高くなっている可能性がある。

【Q11】海外留学について、あなたの現在の状況に当てはまるものを1つ選んでください。



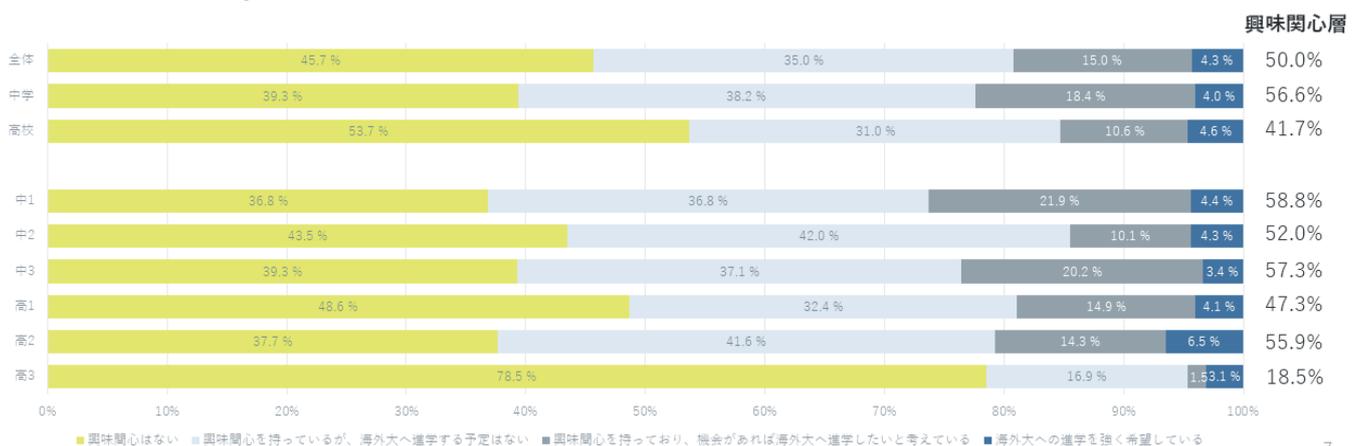
同じく海外大学への進学意向についても、全体の半数が興味を持っており、進学を検討 / 希望している層は2割に上ることが明らかになりました。こちらも高校卒業が近づくと検討 / 希望層が減少傾向にあるため、海外大進学に関する情報や仕組みなどを早い段階でお伝えし、皆さんが進路を検討する際にお役に立ていただければと考えております。

海外大進学状況(Q13)

Komaba FLAP.
for learners and pioneers.

- 「進学を強く希望する」志望層は高2が最も多く、志望校決定時期との関連が見られる。
- 「機会があれば進学したい」意向層は低学年の方が多く、早期からの情報提供によって意向層から志望層へシフトしていく可能性がある。

【Q13】海外大進学について、あなたの現在の状況に当てはまるものを1つ選んでください。



アンケートの詳細はHPでも後日公開予定です。ご回答いただいた皆様、ありがとうございました！

デザイン制作実践講座

本連載では書類・スライド・動画など学生生活における多くの創作物について、その作り方やコツ、またそれらの学び方を扱います。今回は動画編集に関する最後の講座です。動画編集にとっては切り離せない、アニメーションについて扱います。

第7回

アニメーションを活用しよう

ここまで、動画編集のいろはとして、制作の流れやソフト、テロップについて扱ってきました。次のステップとして、文字や図形にアニメーションを加えてみましょう。拡大・縮小させたり、移動させたり... 世の中の複雑な動画は、どのように作られているのでしょうか。どうすれば素敵なアニメーションになるのでしょうか。

キーフレーム

— 画面上で図形を移動・回転などさせるのに必要な「チェックポイント」のことです。

動画編集におけるアニメーションは、図形などが「ある時刻のある状態から別の時刻の別の状態まで移動する」ことが連続して作られています。



大きさや位置などの各値が変化する基準となる点を「キーフレーム」と呼び、たくさんのキーフレームを設定してアニメーションを制作します。下の例では、動画開始から20秒かけて画面中央に拡大しながら移動し、その後中央に留まったまま10秒かけて縮小することを表しています。



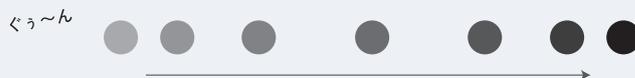
イージーイーズ

— 自然なアニメーションを作るのに不可欠な緩急をつける技法です。

2つの状態（キーフレーム）を直線的に繋げるアニメーションは、アニメーションがいきなり開始したり、急に終わったりする印象を受けます。



一方で、徐々に動き始め（加速）、最後にゆっくり終わる（減速）アニメーションは自然の動きに近く、イージーイーズと呼ばれます。



その他/Tips

— アニメーションに関するTipsを最後にお伝えします。

- ① 音に合わせる
より心地の良いアニメーションの1つに「音に合ったアニメーション」があります。背景のBGMの拍に合わせてキーフレームを打ち、リズムカルで没入感のある動画は非常に効果的です。
- ② モーショングラフィックス
図形や文字にリズムに合わせたアニメーションを付ける手法です。より情報の伝わりやすい動画になるほか、芸術作品として嗜まれる一面もあります。情報を伝えるためのシンプルな動画もある一方、物体の形を変化させたり、3Dと2Dを組み合わせたりすることもあります。
ぜひYouTubeで「Motion Graphics」と検索してみてください。素敵な動画にたくさん出会えますよ。
▶ 著者おすすめのMotion Graphics Designer：SHIROTA. (作品例:THE SEASONS)/ いっしん(作品例:Planet)
- ③ 流れを意識する
アニメーションは、ただ闇雲に付け加えれば良いものではありません。そのアニメーションを加えることで、動画を見る人がどう視線が動いていくのか、意識しながら制作しましょう。

連載スケジュール

4月 見やすいドキュメントの作り方
5月 デザイン制作ソフト・アプリ
6月 デザインの学び方
7月 見やすいピラの作り方

8月 動画編集を始めよう
9月 効果的なテロップを入れよう
10月 アニメーションを活用しよう
11月 スライドの効果的な配色

12月 より優れたスライドへ
1月 ダサイデザインからの脱出①
2月 ダサイデザインからの脱出②
3月 実践的なデザイン制作の流れ

Graphic Design Workshop

第7回：配置① レイアウトデザインの4原則

本連載では「グラフィックデザイン」についての基礎的な知識を網羅的に扱います。デザインの知識を学ぶことは左ページの「デザイン制作実践講座」を深く理解するのに必要不可欠です。今回から、様々な要素の配置について学んでいきます。

要素の配置を工夫することで、情報の優先順位が明確になり、伝えるべきことが適切に伝わります。非デザイナーに向けて書かれた良書『ノンデザイナーズ・デザインブック』ではある4原則が挙げられています。レストランに行ったら、メニュー表を見て、写真や料理名・価格などの情報の配置に着目してみましょう。

▼原則①「近接（Proximity）」

人間は近くにあるもの同士をグループ化して見たり、閉じた図形を見出そうとしたりします。これを「ゲシュタルトの法則」といいます。ゲシュタルト（Gestalt）とはドイツ語で体性を持ったまとまりのある構造という意味です（なお、有名なゲシュタルト崩壊はこのような全体像を把握できず、部分構造しか認知できなくなった状態のことです）。

従って、ひとかたまりに伝えたい情報は近くに配置し、逆に違うかたまりとして認識させたい場合は離して配置する必要があります。

要素を配置したら、マクロな視点から見て関連した要素がしっかりまとまっているか確認しましょう。

▼原則②「整列（Alignment）」

近接に加え、各要素を何らかの直線に沿って揃えることで、さらに見目が整い一体性が確保されます。

左右方向に行われる整列には「左揃え」「中央揃え」「右揃え」があり、上下方向には「上揃え」「中央揃え」「下揃え」があります。

なお、しばしば中央揃えを多用する方が見られます。中央揃えは確かに王道で目を引きたい短いタイトルなどには有用です。しかし、中央揃えは行の始まり部分が一致せず行の始まりがわかりづらい、同一面上に中央揃えを多用することで視点がばらけるなどのデメリットもあります。状況に応じて左右揃えと使い分

けましょう。

要素を配置したら、マクロな視点から見てどの線を基準に要素が配置されているか確認しましょう。

▼原則③「反復（Repetition）」

視覚的要素を繰り返し用いることにより、一貫性や統一感が生まれます。これにより「まとまり」はより明確になり、情報の階層がわかりやすくなります。

反復を行う際は写真のサイズ・文字のサイズ・装飾などを反復します。

要素を配置したら、マクロな視点から見て目的や役割が同レベルの要素が同レベルだと伝わるビジュアルが確認しましょう。

▼原則④「強弱（Contrast）」

全ての要素が同じ重要度であることは滅多にありません。重要度に依りて各種装飾の強弱をつけて、メリハリをつけましょう。これによりすぐ重要な情報が目に入り、情報の階層がわかりやすくなります。

要素を配置したら、マクロな視点から見て大事な情報にすぐ目が行くか確認しましょう。

▼4つの原則を活かそう

下に要素がバラバラに配置されているラーメン屋のメニューに対して原則を適用させてみました。4つの原則がどのように活かされているか、考察してみましょう。



ラーメン屋のメニューのレイアウトを考える

連載スケジュール

- 4月 デザインとは
- 5月 色①～色の指定方法・RGB/CMYK～
- 6月 色②～色相環/トーンとその配色～
- 7月 色③～色の心理的効果・その他～
- 8月 文字①～フォントとは・フォントの種類～
- 9月 文字②～フォントの大きさや文字の形・間隔の調整・混植～
- 10月 配置①～レイアウトデザインの4原則～
- 11月 配置②～視線誘導・余白など～
- 12月 写真①～写真の仕組み～
- 1月 写真②～写真の構図・写真の利用～
- 2月 UI・UX～UI/UXの意味や違い・具体的な事例～
- 3月 ユニバーサルデザイン

■「中の人」からご挨拶



特定非営利活動法人
Komaba FLAP.
副代表理事
蓮池 遼太郎

こんにちは。法人の業務統括を行っています、筑駒65期卒の蓮池遼太郎です。

僕は高校入学組だったのですが、思い立ったらやらないと気が済まない性分で、在学中は生方や友人後輩にかなりご迷惑をおかけしました。喫茶班ではテイクアウト制度や筑駒クッキーを導入する為、校内のあらゆる教員に企画書を持ち込んで相談に乗って戴いたのを覚えています。ディベート部を創部したり、脱出ゲームにハマって後輩と事業を始めたり。文藝部の

新歓と称して旗揚げ公演を行い、顧問のA先生には大変ご心配をおかけしました。

これだけ好きにやれたのも、親身に話を聞いていただき実現に協力戴いた学校空間があってこそだと思っています。現在は高校時代の種々の経験を活かし、戦略プランナー、イベントクリエイターとして働いていますが、その中で現校長より在校生向けの活動支援に関するご相談を戴き、高校時代の後輩を集めてこの法人を設立、活動することになりました。

皆さんも是非、身近に転がっている様々なチャンスや好奇心をきっかけに、行動を起こしてみてください。ここには挑戦を後押しする友人や環境が揃っています。そして我々もそのチャンスの1つとなるよう、様々な形で応援します！



Komaba FLAP.
for learners and pioneers.

企業パートナーシップ募集中!

NPO 法人 Komaba FLAP. では、児童生徒の才能支援に向けた様々な活動を実施しております。

こうした活動をより多くの児童生徒に届けるため、活動趣旨に共感、ご協力戴ける企業様を募集しております。

広報誌での企業ロゴ掲載の他、企業名を冠した奨学金の設置など、様々な形で協働できますと幸いです。

金額、パッケージ等詳細は下記メールアドレスにご連絡いただき、ご相談させていただきます！

ご相談窓口：info@komaba-flap.jp

皆様からのご支援を賜れますと幸いです。どうぞよろしく願いいたします。



Komaba FLAP. ×



for learners and pioneers.

無料LINE会員募集中!

- ◆ 興味関心に合わせて情報をお届け!
- ◆ 広報誌『FLAP.』読者プレゼントに応募可能!
- ◆ 「FLAP. ミニ奨学金」の抽選に参加可能!

LINE登録はこちらから



読者プレゼント

各特集ページのライターからオススメの1冊をプレゼント!

A 賞: 『ジュニア数学オリンピック 2018-2023』 1名
(数学オリンピック委員会・編)

B 賞: 『ノンデザイナーズ・デザインブック』 1名
(Robin Williams)

応募は公式LINEから!

専用フォームに今月のキーワード『イージーイズ』を

入力して応募してください!

応募締切:2023年12月31日(日)中

Komaba FLAP. 企業パートナーシップ

みなさまのお力添えで、学びはさらに深化します

GOLD PARTNER



経営共創基盤